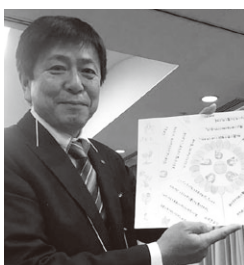


青年部の会員数が300名を突破致しました！

今回の青翔は、会員数300名突破を記念して、会員拡大に尽力されてきたここ5年間の取り組みを紹介するとともに、会員拡大に尽力されてきた方を中心にコメントを寄せていただきました。

1. 会員数が300名に到達して



平成28年度会長
川北 修義

組織の主役は人であり、時代の変化に柔軟に対応していくためには、新しい創造力を持った若い力が必要となります。そのため、会員拡大はいつの時代であろうと組織にとって一番の課題であります。

平成27年11月、私は北本会頭のもとへ会長就任前のご挨拶に伺わせてもらいました。その際に、会員数300名を目標とすると約束させていただき、平成28年度は会員拡大活動に邁進してまいりました。会員拡大活動においては、会員拡大親睦委員会、会員拡大研修委員会の両委員会を主力に多くの青年部メンバーのご尽力を賜りました。その結果、平成28年12月度の理事会におきまして、80名の会員拡大を達成し、会員数も目標数値に掲げた300名を上回る301名と成長することができました。この数字は、全国でも6番目の規模の単会であるとのことでした。



初開催となった枚方オクトーバーフェストの様子(平成28年度)

今後は、入会していただいた多くの皆様に青年部の意義や魅力を丁寧にお伝えしていき、交流を通して互いの

理解を深めることで、自身の事業を発展させ社会性に貢献できる同志を一人でも多く増やし、質・量ともに兼ね備えた組織に成長することで日本一の単会を目指してまいります。

改めまして、会員拡大にご協力下さいましたすべての皆様に、深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

2. さらなる成長を



平成27年度会長
外村 淳

私たち北大阪商工会議所青年部が会員数300名を超える団体へと成長するとは、私が入会した10年前には想像もつきませんでした。10年前は100名足らずの会員数で委員会数も6委員会構成されており、今から思えば「和気あいあい」「のんびりした会」でした。

景気が良く、黙っていても仕事が舞い込んで来るような世の中ならば、そのまま良かったのかも知れませんが、私たち商工会議所青年部は地域社会を活性化するエンジンとならなければなりません。そのためには魅力のある団体へと成長していかなければならないと思います。そんな想いで歴代の青年部会長のもと、会員拡大と事業の充実を積み重ね、日本YEG登録単会400以上のうちで5本の指に入る程の会員数に成長できたと思います。

私が会長を務めさせていただいた平成27年度は、特に組織基盤の充実に力を注ぎました。大きな成果を上げるためには人数も必要です。しかし烏合の衆では意味がありません。事業を成し遂げるためには青年部メンバー皆の想いと目的が同じでなければなりません。入会するメリットを感じて貰えなければそのメンバーは退会してい

きます。入会して良かったと皆が思い、北大阪YEGに所属していればこんなメリットがある！と明確に内外へ発信できる、そんな団体へと成長しつづけていくよう、これからも協力させていただきたいと思えます。



深まっていく北大阪商工会議所本会との連携(平成27年度)

3. 本会と共に歩んできました



平成26年度会長
木崎信也

私は、我々青年部は北大阪商工会議所の一翼を担うことが大前提であり、その前提の下様々な事業や活動を行うべきであると考え、平成26年度第33代会長職を邁進させていただきました。

北大阪商工会議所は、平成24年6月に中・長期行動指針を掲げられました。指針では、会員

増強に向けた取り組みとして「4000会員復活」を目標とされました。私は青年部の会長としてこの点に大いに共感し、青年部が一丸となって協力できることだと思い最大限の力を注ぎました。

まず、本会役員や職員の皆様との『心の距離』を近づけるべく、月1回の意見交換会を、昼食を交えて行うことにしました。単に会議だけではなく昼食を共にすることで“同じ釜の飯を喰った”ではありませんが親近感が沸くのではと考えたからです。そして、北大阪商工会議所の魅力を共有し、更には青年部の魅力も合わせて、青年部の新入会員増強に努めました。青年部のメンバーが増えると言うことは本会の会員も増えると言うことに結びつくと考えたからです。

私が会長をさせていただいた平成26年度は約200名の会員でしたが、この思いを受け継いでくれた外村会長、川北会長のお陰で、遂に300名を超えたことに本当に感謝申し上げます。これからも、本会および青年部が

今以上に大きく発展するために、微力ではありますが精一杯努めて参りたいと考えております。

4. 平成28年度の会員拡大について



平成28年度会員室室長
城岡諭

平成28年度の会員拡大は「数は力、質は量」の気概を胸に会員拡大運動を行いました。

会員拡大を進めていく中で「ビジネスに繋がるから入会したら?」という言葉をよく耳にしました。本年度は、北大阪商工会議所会員サービスとしての青年部の位置づけを明確にし、全国

でも指折りの会員数を有する団体へと成長を遂げるために、「70名拡大」、「300名单会」という目標を明確に掲げました。会員拡大を進める上でのYEGの説明では、商工会議所の一翼を担うという理念のもと「30年以上地域社会に貢献してきた団体である。」ことを伝え、北大阪商工会議所並びに北大阪YEGの意義を理解してもらう心がけました。外部に対して、青年部の綱領・指針に沿った活動、「若き起業家集団〈YEG(Young Entrepreneurs Groups)〉」としての魅力を伝えて行くことは簡単ではありませんでしたが、諸会議にて理事構成メンバーと拡大リストを共有し、各委員長からメンバーの情報収集を行うことと、特に入会3年未満のメンバーからの情報収集に重点を置き、理事構成メンバーを中心に会員拡大の重要性をご理解していただいたお陰で、80名の会員拡大に成功したと考えております。

道のりは決して平坦な道のりではありませんでしたが、川北会長のひたむきに取り組む姿勢に少しでも力になればと邁進した結果、数字としてあらわれ、安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。300名单会達成の結果に驕ることなく、創立35周年及びその先の40周年を見据えて、今一度、心の籠たがを締め直し活動してまいります。

5. 平成28年度新入会員の立場から

年齢も40代に入り、周囲の勧めもあって、西森治貴氏をご紹介者として、平成28年4月に北大阪商工会議所青年部に入会いたしました。現時点でまだ一年が経っていませんが、多くの出会いと学びがあるYEGライフを楽しんでいます。

平成28年度は、地域活性化委員会に配属され、今年

初開催となった「枚方オクトーバーフェスト2016」の開催にむけた様々な取り組みに参加いたしました。枚方市駅前大収穫祭の中核事業と位置付けられたオクトーバーフェストに実行委員会事務局という立場で計画・実施・検証のお手伝いをしました。仕事での立ち位置とは違った形



平成28年度新入会員
亀岡健太郎

でオクトーバーフェストに参加できたことは貴重な経験となりました。開催期間中には、たくさんのメンバーの皆様が会場に訪れ、イベントの盛り上がり、ひいては地域の活性化を実現しようと取り組まれる姿に、YEGの魅力と地域での存在感を改めて感じました。

北大阪YEGは300名を超える大きな組織ですが、委員会や新入会員オリエンテーションなど新入会員が活動に参加しやすくなる仕組みがあり、スムーズに馴染むことができましたと思います。

まずは残りの今年度を楽しませていただき、来年度も北大阪商工会議所青年部の飛躍に貢献できるよう積極的に活動に参加していきたいと思っています。

6. 平成27年度新入会員の立場から



平成27年度新入会員
奥村拓也

私が平成28年度の広報委員長である西澤真介氏からのご紹介で北大阪商工会議所青年部に入会させていただいたのは平成27年6月のことです。

当時、橋内英樹氏が委員長をされておりました渉外委員会に所属させていただき、入会当初は委員会や例会にも参加させて

いただきましたが、業務の繁忙期もあり、しばらく参加できなくなりました。その時に橋内英樹氏と西澤真介氏から心配していただき、再び、委員会や例会に参加させていただけるようになり、今年度は広報委員会の副委員長として、青年部に参加させていただいております。

今回、青年部の会員が300名を超えたとお聞きし、いかに北大阪商工会議所が地域に根差されている事業者のためになっているのかが想像できます。また、人数が多くなると、新入会員のサポートやアフターフォローがおろそかになり、絆が薄くなりがちだと思うのですが、これも多くの会員が私を含めた新入会員のサポートをされ

ておられているからこそ、新入会員の皆様が新しく新入会員を呼び、人数が増えているのだと思います。

来年度も北大阪商工会議所の青年部がさらに飛躍するように私も微力ながら精一杯貢献させていただきたいと思っています。

7. 平成26年度新入会員として・平成28年度会員拡大親睦委員長として

平成26年の春、起業して2ヶ月目、まだまだ何もかもが手探りで希望と不安の毎日の中、懐かしい友人から電話があった。しばらくして事務所に来た友人が、封筒からYEGの入会申込書を取り出し、「とりあえずこれに名前を書いてくれ。」と説明し言われるがままに記入し、この日から私のYEG活動がはじまりました。



平成26年度新入会員・
28年度会員拡大親睦委員会委員長
長田秀史

入会して、例会、委員会、懇親会と参加していくうちに仕事や身の上話で盛り上がり、経営者の悩み喜びなど共有することでYEG活動にのめり込んでいき、たくさんのメンバーの方と知り合うことができました。



YEGの意義を共有し組織強化を図る(平成26年度)

平成27年度は理事メンバーとなり、理事会を通してよりYEG活動も深まり気がつけば2名新入会員を勧誘していました。「とりあえず名前書いてくれ」と同じ言葉で…(笑)

平成28年度は会員拡大親睦委員長として会員拡大70名、300名を超える単会を目指す目標のもとスタートしました。会員拡大も順調に進み11月には70名も達成し目標も達したと思われましたが同時に退会者もあり、理事メンバーを中心にさらなる拡大活動を続け、終わってみれば80名の拡大となり301名という数字までたどり着きました。

入会3年未満のメンバーが半数近くとなったいま、北大阪YEGに入ってよかったと思われる運営が今後はますます必要とされると思いますが、300名を超える年度の活動に参加協力できたことは自身にとっても喜びであり力にもなりました。これからも北大阪YEG愛を心に刻み、活動に邁進してまいります。会員拡大にご協力いただきましたメンバーの皆様ありがとうございました。

8. 会員数300名突破おめでとございます。 ~平成24年度・創立30周年時の取り組みについて~



平成24年度会長
恩地 宏昌

私は、4年前の平成24年度、幸いに北大阪商工会議所青年部30周年時の会長を1年間させていただきました。当時、一番力を注いだのは会員拡大でした。平成24年度が始まる前の予定者段階では会員拡大を50名にする予定でしたが、事務局から「現在140名の会員がいてあと60名拡大できれば200名の大台になる。」ことを聞かされ、60

名拡大を決意しました。

前人未到の60名拡大をするために会員の協力は欠かせないので、どうやったら60名拡大できるかを会員から聞いたところ、年間6万円の会費が高いというニーズを捉えました。全国の各単会を調べてみると全国平均が36,000円でしたので、もし会費を下げることであれば60名拡大も夢ではないことを確信しました。会費軽減が会員拡大の礎になると考えたのです。そこで、OB会の先輩方とも話をさせていただき、年会費を48,000円に下げることができました。

会費を下げたうえで、理事を中心に会員拡大を「数は力、数が増えるとビジネスチャンスの数も増える」を信念に会員拡大を推進しました。その結果、皆様のご協力のお蔭で62名拡大に成功しました。前人未到の60名拡大を達成して、北大阪YEGは新たな転換点を迎えたことを確信しました。

現在では、300名を超える会員を有する全国屈指のYEGに成長できたとのこと。私自身も感無量であります。次年度は35周年を控えております。北大阪YEGのますますの発展に力を尽くしていきたいと考えております。

北大阪商工会議所 青年部 会員募集



平成28年度スローガン
**人を繋ぎ、地域を繋ぎ、
未来を繋ぐ「魅力あるまちへ」**

**商工会議所青年部【YEG】は
次代の地域経済を担う
若手経営者の集まりです。**



平成28年度会長 川北修義

〒573-8585 枚方市大垣内町2-12-27
TEL: 072-843-5163 FAX: 072-844-9988
北大阪商工会議所青年部事務局

<http://www.kitaosaka-yeg.jp/>

検索 